

四国支部発足会の報告

NPO 臨床トンネル工学研究所の地域活動部会の一環として、平成 28 年 6 月 23 日に高松にて四国支部発足会を開催しました。

昨年度までは、当研究所の支部として東北、関東、中部、近畿、中国、九州の 6 支部が運用されてきましたが、本年度より新たに四国支部を発足しました。

近隣支部からの参加者も含め 59 名（定員 30 名）の参加いただき、盛況に発足会を開催することができました。また支部発足を契機に四国地区で多数の方々に新規に入会していただきました。

発足会前半の部では、中川理事長並びに岡村幹事長より、当研究所のこれまでの歩みや活動概要等について紹介していただきました。

後半の部では鹿島建設・山本様より『トンネル補強・補修工（措置）の現状』というテーマで話題提供していただき、また香川大学工学部教授長谷川様には『応用地質学視点による大地の診断方法』というテーマで特別講演をしていただきました。両テーマともに熊本地震の状況も織り込まれた非常にホットで興味深い内容がありました。

発足会後の懇親会では、多数のトンネル技術者が集い活発な意見交換が行われ、最後に高橋副幹事長の音頭で今後の地域活動部会の活性化を確認し、終了しました。

（記録 地域活動部会四国支部 福家（新日本開発株式会社））

プログラム： 発足会（研究所概要説明、話題提供、特別講演） 、懇親会

開催日時：平成 28 年 6 月 23 日 14:00～19:00 場所：レグザムホール（高松市）

対象：正会員、賛助会員、研究所の活動に興味のある方





長谷川教授特別講演



懇親会の状況